

## 第7回まちづくり基本条例市民学習会

平成21年2月14日(土)

吉田公民館 3階講堂

### 【司会】

皆さん、こんにちは。本日は、お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

それでは、ただ今から「みんなで作ろう。まちづくりの基本ルール」というテーマのもと、「第7回まちづくり基本条例市民学習会」を開会いたします。

私は、本日の司会を担当いたします、企画調整部企画政策課の宮野と申します。よろしくお願いたします。

はじめに、本日のプログラムについてご説明いたします。

本日は、第5回学習会から各グループに分かれてワークショップを行いながら議論してきた、家庭ごみの問題から考える「地域の公共的課題の解決法」について、新しい参加者にも加わっていただきながら各グループで議論した内容のまとめと発表を行います。

最初に、前回参加されなかった方のグループ分けを行います。

次に、ワークショップに移り、前半で各グループの議論について発表用にまとめを行い、休憩をはさみ、後半部分で各グループの発表を行います。

なお、本日の学習会の閉会は午後4時を予定しておりますが、進捗状況に応じては、終了時間が延びるかもしれませんので、皆さんの御協力をお願いいたします。

### ----- 【ワークショップまとめ】 -----

### 【グループ別発表】

新潟大学大学院実務法学研究科准教授 馬場 健 氏

それでは、これから各グループから議論の内容について報告していただきたいと思います。質問は、グループごとの報告の後に時間をとってありますので、質問をしていただければと思います。発表の順番なんですけれど、1班からという方法もあるんですが、とりあえず最初にやってみたいというところはありますか。それでは、手の上があった順番で発表をお願いします。

### ● 5班の発表

こういう発表は、一番最初の方が良いと思いました。5班では、ごみの減量について話し合いを行いました。私たちは、ごみの減量作戦本部という名称を付けました。どんなことを話したかと言うと、ごみの問題について前々回からいろいろと意見を付箋に書いて貼ってもらいましたが、一番目に問題提起をし、その後、科目ごとに分けたものがこちらになります。そこから見えてきたものを、このようにまとめてみました。

まず、住民と町内会・自治会、行政の役割、また、そこではできなくて、その他の団体等にも声掛けをしなければいけないというものもありました。まず、住民としてはどんなことをやれば良いのか、どんなふうになればごみの減量に貢献できるかということに分けてみました。ごみの減量化へ一人ひとりが努力をする。それから、エコバッグを使う。もちろんマイカップやマイ箸もということになります。なるべくごみを出さない努力を一人ひとりがする。それから標語を募集してそれを発表。いわゆる、募集があつたら積極的に応募しましょうということです。

次は、町内会・自治会に関してですが、ここでは決まったことについて、いろいろな運用方法を考えたらどうでしょうかということで、収集場所の問題ですが収集場所の清掃は、まず町内会

あるいはそれぞれの班・組で話し合っ決めてなければだめですよということになりました。それからカラス対策なんです、解決方法をそれぞれのゴミステーションによって変えなければだめだということになりまして、例えば黄色いネットであるとか、シートや金網やゴミステーションの設置。その場所に応じた方法をとってもらおうということになりました。それからもう一つアイデアがありました。ゴミステーションにイラスト入りの看板を立てたらどうか、そこには「明るい」「楽しい」というテーマでイラストを書いたらどうかということになりました。

次は、行政へのお願いですが、行政としてはごみ減量大会を行い、賞金を出すというものが出てきました。それから、イベントを行うときにごみの減量のビデオを作ったり、リサイクル商品を紹介してはどうかという話が出ました。リサイクルから素晴らしい製品ができることをPRする。それから、ゴミ袋にイラストを入れる。先程の看板と似ていますが、イラストを入れて分別方法を分かりやすくする。そういう意見が出ました。これらをまとめて、住民へのマナーやモラルの教育をイラスト入りで行ってはどうかという話になりました。

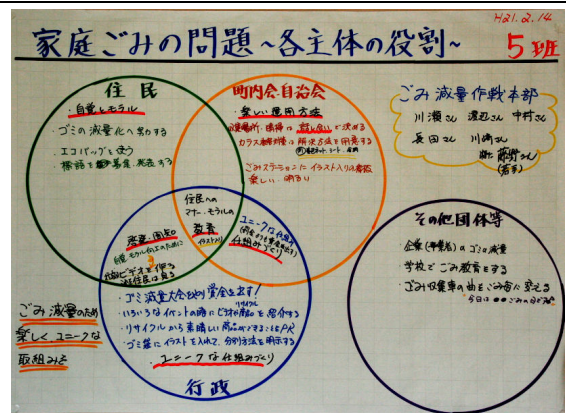
その他の団体としては、企業、事業者は、ごみの減量に努めてもらう。次に、学校でごみ教育をするということです。これは、子どもの目というのが重要で「子どもが見てるから悪いことができない」という大人がたくさんいますので、それを活用するためにも学校でごみ教育をして、子どもたちに「あの人、間違っごみを出しているよね」というような、子どもたちの目を教育するという。それから、ごみ収集車が鳴らしてくる曲をごみごとに変える。例えば可燃ごみと不燃ごみで別の曲に変えるという意見が出ました。いずれにしても、ごみ減量のために楽しく、ユニークな取り組みをしていったら良いんじゃないかなということ。以上で5班の発表はおしまいです。

5班 発表資料



H21.1.24 5班  
家庭ごみの問題～各主体の役割～

課題・問題点	住 民	町内会・自治会	その他団体等	行 政
ゴミステーションの設置スペースの確保 (清掃・ゴミ管理)				
カラスの被害をどう防ぐか?				
ゴミの分別方法が解りにくい。				



H21.1.24 5班  
課題・問題点

住 民	町内会・自治会	その他団体等	行 政
ゴミの出し方 がイメージ悪い。			
ゴミ収集車 の作業			
ゴミの減量化 が難しい。			

(質問)

ごみの収集車の曲をごみごとに変えるというのは、ごみを出した後ですよ。収集車が走っているときに鳴らすんですしょうか。

## (回答)

はい。だから、その日は間に合わないんです。でも、それがずっと耳に残っていれば良いと思います。

## ● 2班の発表

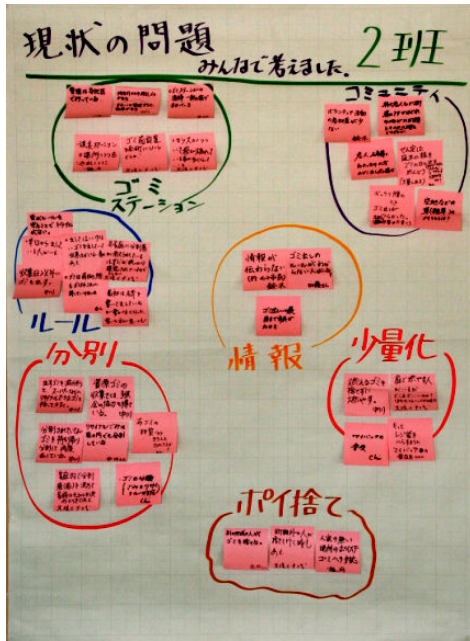
それでは、2班の発表を行わせていただきます。うちの班はメンバー全員で発表を行います。2班は、前々回、前回の今までの議論と今日のまとめまでの過程を説明させていただきながら発表させていただきたいと思います。2班でまとめた現状の問題としては、項目として7つ挙げられました。ゴミステーション、コミュニティ、ルール、情報、少量化、分別、ポイ捨て、これらの問題が出てきました。たくさんあるので、1つずつ紹介させていただきます。まず、ゴミステーションの問題としては、ごみ箱の設置を全市的にしたらどうかという意見がありました。続いて、コミュニティの問題ではボランティア活動の参加が少ないという問題。ルールの問題では、出してはいけないごみを出して収集されないことがあるという問題があります。情報の問題では、情報が行政から市民、市民から行政に伝わらないことがあるということ。ごみの少量化の問題では、燃えるごみを捨てずに家庭で燃やすことができないかという意見も出ました。分別の問題では、資源ごみの収集について子ども会の協力を得ているとか、分別されていないごみを地域の人が持ち帰り、再度出し直しているといった意見がありました。最後になりますが、ポイ捨ての問題では、他の地域の人が通りすがりに捨てていくという意見が出ました。

次に、これらの問題をどういうふうに解決していったら良いのかということについての話し合った内容をご説明します。この現状の問題を踏まえまして、課題・問題点を項目別に住民、自治会、行政、その他団体がやるべきことについて、このようにまとめました。最終的に項目としては、「情報」を外してあります。情報発信や情報共有は、行政その他みんなでお互いにやるべきことという結論で外しました。

今、課題と各主体の役割の図を見ていただいたんですが、こちらのまとめをご覧ください。4つ丸で囲んであります。住民、町内会・自治会、行政、その他団体等ですが、一言で言ってしまうと、住民はごみを減らしたい、きれいにしたい。町内会・自治会というのは、できるだけ人的支援という形でコミュニティを守っていききたい。行政は、お金がないから経費を減らしたい。その他団体というのは、自分達の活動のためにテーマを他の3つの主体と共有したい。こういったことが簡単に言えば、それぞれ言えるんじゃないかというふうに思います。この4つの主体に共通して言えるのは、やはり何かしらのテーマが必要だろうと。一つのテーマがあって、それに向かって、経費を減らすだとか、ごみを減量化するだとか、コミュニティを守っていくとか、こういった流れが必要だろうと思います。そういう意味で究極的には、公共的な問題を解決しようとするときには何かしら一つのテーマが絶対に必要だろうと思います。ということで、テーマとか目標を設定する。それで、その目標やテーマというのは、参加したい人が参加できるようなものを、そしてみんなで作ってみんなで参加すると。こういった過程が必要なんじゃないかということが我々の班で話した内容です。

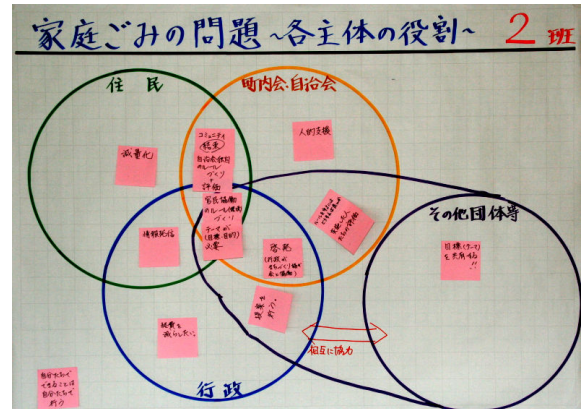
まとめとしましては、公共的課題の1例としてこの家庭ごみの問題を話し合ってきたわけですが、究極、その目的や何をしたいのかということがはっきりしないと、はっきりしてからこのごみの問題について話し合わなければならないと思います。例えば、まちづくりの何をしたいのか、この件についてまちで本当に何をやりたかったのか、最初のイメージという過程があるから、多分こういった問題に行くんだろうなと思います。うちの班では、一番最後にみんなでこういった議論がありましたということだけ、ここで報告させていただきます。以上です。

2班 発表資料



家庭ごみの問題～各主体の役割～ 2班

課題・問題点	住民	町内会自治会	その他団体等	行政
ゴミ	意見交換 話し合い 社会学習	場所の 家集	促進	助成
ルール	分別のルールを わかりやすく お知らせする	声掛け お知らせする		ルールを地域に 普及させる (啓発活動)
分別	分別指導 教育	教育	町内会 (団体)	教育 学習の場 施設での 啓発活動
少量化	ゴミの 削減	町内会 の活動	啓発活動	啓発活動 の展開
情報		町内会 の活動	啓発活動	啓発活動



(質問)

私の班では、ごみのポイ捨ての問題というのが出てこなかったんですが、とても気になる問題の一つだと思います。2班の方たちは、どういうふうにごみのポイ捨てについて話し合われたんでしょうか。

(回答)

はい。最初は、ポイ捨てについての議論もあったんです。ポイ捨てというのは、問題の範囲が広すぎて、ごみがお家から来たり田んぼなんかで捨てられている問題もあったりして、家庭だけではなくてとても大きな問題ですので、議論はあったんですが、まとめの議論からは省かせていただきました。

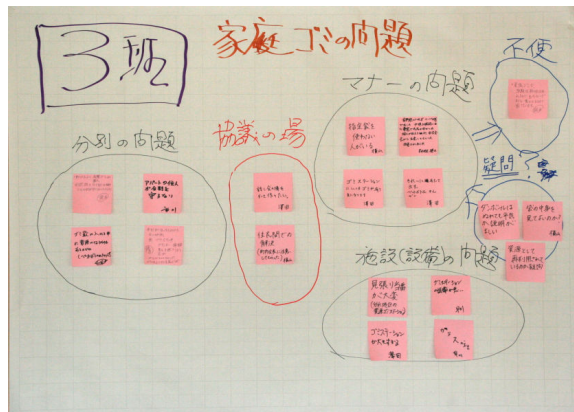
● 3班の発表

私達3班は、このメンバーで、参加者がほとんど変わらず一緒に会議をしてきました。その中で、いろいろな問題が話し合われました。分別ごみ、マナーの問題、それから施設、ごみ箱自体の問題というのが大きく出てきました。また、協議の場ということで、ごみの出し方自体がわからないので、ごみの出し方についていろいろな話を聞きたいという意見が結構出てきました。

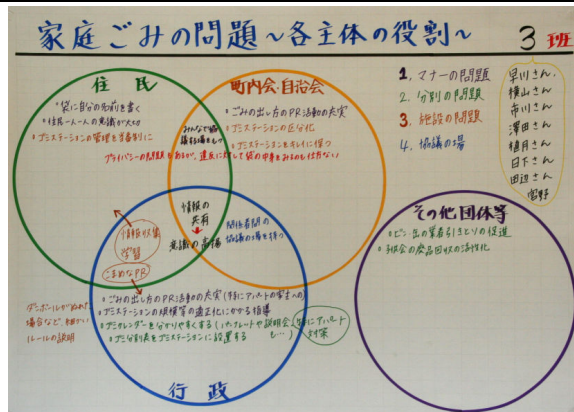
そんな中で、これらいろいろな問題を皆でどう解決しますかということについて話し合い、行政とか、住民など主体ごとにいろいろ分けてみました。マナーの問題については、指定ごみ袋を使わない人がいるとか、ゴミステーションにいつもごみが出ているという問題、ペットボトルをきれいに洗っていないなどの問題が出てきました。それらの解決の方法は、こちらのまとめです。自分の家でするごみは自分で責任を持つということ、ごみ袋に対して名前を書いたらどうですかという意見が出ました。それから一人ひとりのごみ問題に対する意識をもっと高くしようと

いう意見がありました。意識を高く持つには、やはりいろいろな情報が必要ということで、ごみの出し方の勉強会などを行政からもっと行っていただきたいという意見や、住民ももっと勉強してほしいという意見が出ました。それから分別ごみの問題で、アパート住まいの方たちの中で、きちんとしているところは良いんですが、ルールを守らない方がいるという問題が出てきました。また、分別ごみの分別の仕方がわからないという問題もありました。それからごみの分別をしっかり守るために、ごみ出しの管理を住民の中で当番制にしたら良いんじゃないかという意見もありました。地区によってですが、分水地区では結構当番制にしている、とても好評ということで、他の地区でも当番制にしてはという意見も出ました。それから、町内会ではゴミステーションをきれいに保つということについて、みんなで相談してはどうかという意見がありました。そして町内会と住民は、常に話し合う機会が必要なんじゃないかということも出てきました。それから、たまにゴミステーションに残っているごみ袋があるんですが、そのごみはプライバシーがあるから開けて中を見るのはいけないんじゃないか、でもいつもごみ袋が残っていると困るので、やはり中を開けて見て、ルールを守らない人がいたら注意をすべきなのではという意見もありました。ごみの出し方で、段ボールが濡れたり紙ごみが濡れたりするといけないのか、分別ごみの出し方のルールが良く分からないというのが出てきました。それから分別ごみの出し方で、ごみカレンダーをもっと分かりやすくしてほしいという意見も出ました。これは、行政の方にお願ひしたいことです。それから、大まかなごみ分別表をゴミステーションごとに貼ってほしいという意見も出ていますので、これも行政側にお願ひしたいことです。そして、町内会と行政とが情報交換を頻繁にしてほしいです。そして町内会長を中心に、分別ごみの出し方をもっと詳しく説明してもらいたいということと、それから高齢者の方からも今までとは違うということを意識してもらいたいということ、子どもたちにもごみの分別ということを当たり前のことだと知ってもらう。子どもたちに別に変わったことではなく、ごく普通のことが普通にできるごみの分別を教えるためにも、住民の人たちがもっとモラルを持ってごみを出した方が良いんじゃないかということになりました。私達の班では、以上のような話し合いを行いました。

3班 発表資料



課題・問題点	住民	町内会自治会	その他団体等	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>マナーの問題               <ul style="list-style-type: none"> <li>指図板を壊している人がいる</li> <li>ゴミステーションにゴミが落ちていない</li> <li>ゴミの日には、ゴミをゴミ袋に入れて出す</li> </ul> </li> <li>分別の問題               <ul style="list-style-type: none"> <li>分別の仕方が分からない人が多い</li> <li>分別の分別が分からない</li> </ul> </li> <li>施設の問題               <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミステーションの設備が悪い</li> <li>管理が不十分 (ゴミの日には、見張りをする)</li> <li>ゴミステーションが大雨になる</li> </ul> </li> </ul>				



課題・問題点	住民	町内会自治会	その他団体等	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の問題               <ul style="list-style-type: none"> <li>設備を壊している人がいる</li> <li>ゴミの日には、ゴミをゴミ袋に入れて出す</li> </ul> </li> <li>分別の問題               <ul style="list-style-type: none"> <li>分別の仕方が分からない人が多い</li> </ul> </li> <li>協業の場               <ul style="list-style-type: none"> <li>協業の場をうまく活用しない</li> </ul> </li> </ul>				

### (質問)

ごみ袋に名前を書くと言われたんですが、地域によってやっているところとなかなか抵抗があるところとあるんですね。ふと聞いていて思ったんですが、例えば袋に小さくても良いので動物のシールを、例えば自分の家ではクマのシールを貼るとか。そうすると、名前を書かなくても良いからもう少し入りやすいのかなという気がしましたね。もちろん貼らない家も出ますが、貼らない家の中でごみが限定されます。シールを貼ってもらうんですが、あまり目立たないようにすることで抵抗が少ないのかなという気がしました。

### (回答)

子どもたちが大学等で遠く離れると、結構、いろいろな地域でごみ袋に名前を書いて出すというのが分かります。自分のごみは、自分で責任を持って出すということですね。それと、通勤途中でごみを置いていかれる方が結構いるので、そういう対策にも一役買うんじゃないかと。

### (質問)

段ボールや新聞が濡れたらだめというのは、PR不足と言いますか、リサイクルされたものが最終的にどう扱われてどうなるのかという勉強会が必要だろうと思うんです。僕の感覚で言うと、濡れても最終的には製紙業者では濡らしてきれいにする必要があると思うので、ですからその辺の情報をみんなで共有すると、もうちょっと判断できる場所があるのかなと思いました。

### (回答)

3班でも濡れると悪いからナイロンに包装して出そうかというのと、そのナイロンは別のごみに分別されるんじゃないかとか、濡れたら業者が大変だからシートをかけようとか、そのごみの出し方自体にバラつきがものすごくあると思います。

### (質問)

濡れても良いということで、全市で統一されていませんか？私たちの地域では雨の日でも表に出しています。

### (回答)

そういった情報が、住民の方にもっと行き届いていれば、皆さん、もっときちんと出されると思うんですが。そういう情報が、住民の方全部に行き渡っていないというのが現状のようです。

## ● 4班の発表

4班でございます。まちづくり基本条例市民学習会という一環の中で、家庭ごみの問題をとらえて、いかにみんなで相談して、決めて、実行して、良いまちにしていくかという中で、こういった事例が出てきたんだろうと私自身は理解しております。家庭ごみの問題については、これからは、それこそ行政が関わり、町内会もそのとおりに実行していただくことで非常に素晴らしい市になるのではないかなと思います。前段でございましたけれど、内容につきましてですが、前々回から行ってきた家庭ごみの発生から収集までの課題ということで、このとおりに我々が話し合ったことについて、課題・問題点について6つに分類しました。それぞれ6つの問題点に対して、どのようにしたら良いかということを中心にまとめ、最終的に、このまとめのようになっております。例えば、ごみ出しルール違反とマナー違反というところには、ルールの厳守の意識とかルール違反の人を見たら勇気を出して注意したらどうかとか、いろいろな意見がありました。このように6つに分けた課題・問題点を住民として、町内会・自治会として、行政として、あるいはその他団体がどういうことをやれば目的が達せられるんだろうということであろうと思います。その中では、各主体がいろいろ関連してくると思います。

その一端を申し上げますと、住民としてはごみ出しのルールを守る。時間体とか分別とか、現状決まっているわけですから、それを正確に守るということだと思います。では、どのように守るかということは、住民全員がですね、一人ひとりが守るようになるためには行政の協力が必要

だろうし、町内会の回覧版を通しての周知徹底も必要だと思いますけど、何と言っても住民が守ってもらわないといけないと思います。例えば収集場所を守るといってもそうだと思います。間違えることはあるかもしれませんが、間違えたら勇気を出してごみを引き上げるところまで徹底しないといけないと思いますね。クリーンデーに積極的に参加することも、それによってルール違反やポイ捨ての事実の認識となると思います。

それで、行政側に対しては、分かりやすいごみカレンダーを作る、あるいは分別の分類を8分類とか16分類とか32分類とかあるようですが、この燕市において最も合理的な分類数はどうなんだろうということを検討していただきたいと思います。ごみカレンダーは一覧表になって非常にきれいに出来上がっているんですが、やはり色別ということになると分かりづらいという面があるから、そういう部分に少しお金をかけてもいいんじゃないかと感じます。

町内会・自治会についてはゴミステーションの整理整頓ということ当番制であろうが組長充てであろうが、その辺は工夫を自分の町内が一番きれいな町内であるというふうな観点の下で繰り返し行ってはどうかと思います。

その他団体等においては、収集業者あるいは企業、そういうところにもですね、ごみ問題についてご協力を得るため、お願いしていきたいと思います。

以上でございます。

4班 発表資料

● 1班の発表

1班からご報告します。1班は、各担当になった班の皆さんの出入りが非常に激しくて、3回議論を行ってきたわけですが、全回を通していた人が2人しかいないので、非常に意見がまとまらなかつたわけですが、いろいろ回を重ねていく度、問題点を8つに分類してみました。収集場所、収集箱の設置、収集場所の管理・清掃、町内以外の持ち込み、収集時間を守らない、ごみの

分別、ごみの減量化、エコ・リサイクルと、こういうふうに分けてみまして、これらの問題点を解決していくために、住民、自治会、その他団体、行政としてどういう役割分担をしてもらうのが良いのかということで、大きくまとめてみたのがこのような中身です。

収集場所ですと、住民が相談して自治会との中で決めていくというのが基本なんですが、行政としてお願いしたいことは、ごみ収集箇所が適当かどうかチェックしたり、あるいは道路なら道路で良いのかどうか、安全な場所を確保するような方法も、今後行政として必要なのではないかと思います。その辺のチェックが今、行政として徹底されていない部分だと思っていますので、今後の問題としてお願いしたいなど。

それから、収集箱の設置の関係も同じような中身ですね、やはり行政として専用のステーションを作ってもらえるような努力をしてもらいたいというようなことが多くの意見でした。それから、問題について話し合ってもらったときに、分水地区、吉田地区、燕地区の3つの地区の中で、ごみの出し方が必ずしも一致していないというのがありまして、意見をまとめる際に若干食い違いがありました。

収集場所の管理としましても、他の班の発表にもありましたけれど、住民と自治会とが相談をしてですね、順番等を決めて住民が参加をしてきれいにしていくということが一番大事なんですが、今の社会状況の中で外国人の方が非常に増えておりまして、ごみ出し場所あるいはそれを徹底するチラシにですね、外国語の表記による作成などもそろそろ行政の方で検討してみても良いのではないかとということも話し合われました。

それから町内以外の持ち込み、これも他の班でありましたけれど、いわゆるポイ捨てと同じことなんですが、例えば通勤途中で他所のゴミステーションに置いていくとか、こういうことが問題になって、その地域の町内会は非常に迷惑をするわけですが、そういうことを直す工夫がないのかということで検討しました。やはり行政として、収集場所に禁止事項等をきちんと書くとか良い方法があれば、町内会に情報提供していくといったことを今後お願いしたいと。

収集時間を守らないということもありますが、これも行政として広報等で住民にモラルの再確認とかそういったことをしつこく呼びかけていただきたいと。私も地域でゴミステーションを見ていると、一時は非常に立派な看板などができていたんですが、古くなって印刷が見えなくなっていたりするところがあるんですが、それを再点検してもう一回リニューアルをお願いしたいと思います。

それからごみの分別、これなんかも老人クラブや子ども会などで学習をする機会を設けたらいいのではないかと。北地区まちづくり協議会では、ごみの問題を中心にしてその地域の学習会等もしつこく開催しているということもございます。そういうところもぜひ活用していただきたいと思います。

それからごみの減量化の中では、事業者等に紙が薬品で溶けるような研究をしていただきたいという意見がありました。

エコ・リサイクルにつきましては、生ごみの再生活用を活用していただいたらごみが減るのではないかと。それから収集の仕方ですね、PTAや町内会のリサイクル活動で空き缶や段ボール、新聞紙等の収集もやっている地域もあるんですが、そんなことをやってみるとか、行政としてはリサイクル資源ごみにかかる収支の公表を行っていただきたいと。また、クリーンデー燕を春秋2回行って各自治会から報告してもらっているわけですが、この報告を公表したら良いんじゃないかということもありました。それから、生ごみのたい肥化ももっと一生懸命にPRしたら良いのではないかと。こんなことでまとめたところでございます。たいへんありがとうございました。



1班 発表資料



家庭ごみの問題～各主体の役割～				1班
課題・問題点	住民	町内会自治会	その他団体等	行政
・収集場所	住民が相談した際に	利用状況の巡回場所を自治会で決める		ゴミ収集所の適当なチェックする。
・収集箱の設置		町内で購入を検討する。		専用のステーションをつくる。
・収集場所の管理(清掃)	住民が相談して係を設置し管理する	自治会で決めて管理が徹底される。		外国人は外国産のパンフレット、袋を収集所に禁止事項を設けて徹底する。袋はモラルアップの努力
・町内以外(持込み)	袋・缶の持ち込み	不当投棄用にゴミ袋と市へ申請する。		収集場所に禁止事項を設けて徹底する。袋はモラルアップの努力
・収集時間を守らない				
・ゴミの分別			老人クラブ、子ども会などで啓発の機会を設ける	
・ゴミの減量化			茶室で減量活動を研究してもらう。	
・エコ・リサイクル	生ゴミの再生活用を努力する		PTAやママ友がリサイクル活動をする	リサイクル資源ゴミの収集の改善。ゴミ回収の収集カーテンの回収の改善。生ゴミの堆肥化とPR

(質問)

収集場所の設置という項目でですね、行政に専用のステーションを作ってもらいたいような努力をしてもらいたいということがありました。それは自治会の問題だと思います。私は分水地区に住んでいますが、分水地区では箱を設置してその場所だけというところもありますし、自治会によって1年ごとに場所を変えてネットで包んでいるという町内もあります。住民の皆さんは、そういった自分達のことを何でもかんでも行政にというのはいかがなものかと思うんですが、無理やりにごみ箱を置くということはちょっと。その町内の人数であったり、世帯によっては大きいものになると思うんですが、そうすると場所を借りることになります。それが街中ではなかなかできないので、ネットで包んだりしていますが、それでもカラスにつつかれたりします。本当かどうか分かりませんが、カラスは黄色い色が嫌いということでそういう色は変えた方が良くないかということはありませんが、専用のステーションを行政で作るといのはどうかと思うんですが。

(回答)

それは、皆さんから協議してもらったものですが、村部の方に行くと場所は確保されているんですが、確かに町部に行きますと設置場所に苦労されていることだと思います。しかし、道路に置いたりいろいろな問題があるので、行政に任せると言い方になってはいますが、非常に大変ではありますが住民、自治会が中心となって場所の確保をして、そこにステンレスの箱を置くような、そういう努力をですね、行政も一緒になって、ぜひやっていただきたいというのが私達の議論でした。行政に全部任せるということではなくて、現在でも補助金制度というのがあると思うんですが、そういったものをもっと活用してですね、今週と来週、今月と来月で設置場所が違うということだと非常に住民の皆さんも大変だと思うので、その辺をぜひやっていただきたいというのが私達の議論です。

(質問)

今の問題についてですね、私はやっぱり収集場所の設置する規模によっては、行政からやってもらわないとだめだと思います。私は車で長野とかを通るときに、ごみの置き場所に鍵が掛かっていて、いつでも開けられるようにはなっておりません。そういうところでは収集時間も守られるし、他所に投げ捨てていく人もいないわけですから、その辺を微調整や検討していかなければならないと思います。町によっては屋根の付いている、鍵が掛かるところを知っております。

## (回答)

皆さんと一緒に議論していきたいと思います。

### ● 6班の発表

最後になりました。6班ですので予定どおり最後の発表ですが、皆さんずっとこの会議に関しては同じメンバーで話をさせていただいて、非常にスムーズにいったかなと思っています。

まず、ごみの問題については住民がやらなければいけないこと、当然、皆さんから今までお話しがあったことについては、私どもの話し合いの中でも全部とは言いませんが話としては出ていました。とにかくルールの問題が出てこようかと思いますが、細かくご説明しますと時間を守らない。それから先程も意見が出ていましたが、外国人に対してコミュニケーションをどう取ったら良いのかという問題、ごみの減量化については、生ごみをたい肥化したらどうかという話が住民に対しての話として議論されました。

町内会・自治会に関しては、自治会というのは苦情係というのが一般的かと思いますが、違反ごみの後始末やステーションの管理という話がいろいろ出まして、見回りなど行ったらどうかとか違反者に注意をどういうふうにしたら良いかとか、粗大ごみの置き方をどう指導したら良いかとかそのような話が出ておりました。

行政に対しての件ですが、ルールを明確にしてほしいという話。とにかく分かりにくいと。ただ、新潟市のような分別よりは、燕市はまだ分かりやすいと思うんですが、とにかくどういうふうに出したら良いのか分からない。可燃ごみや不燃ごみといった、私も自信がないですけど、そういうものを明確にしていだけないかという話が出ました。そのルール作りを行政の方からしていただけないかということと、減量化に関して言えば減量の方法等もアピールしていただけないかと。また、ごみの量などを市の方から住民に報告されれば、住民の意識レベルが高まるだろうという話も出ています。

その他団体については、一番リサイクル業者等の話が出ていましたけれども、ごみを減らすためには、リサイクル業者は近年増えていると思いますが、その活用などを考えてみたらどうかと。また、イベント等については、容器をマイ箸、マイカップといったものを利用していただけないかというふうなことで減量化できるだろうということが話し合われました。

ほとんど内容がかぶってしまうかもしれませんが、今回の勉強会で、重要だと考えられる部分を抽出してまとめ直したものがこちらの内容です。

まず住民に求められるものと言いますか、住民の役割としては、まずルールを守るというこの一言に尽きるのではないかと思います。時間や分別の仕方、清掃などそれらのルールを守るということを住民がしっかりやっていくことだと思います。あとは、ごみの減量化に協力ということで、生ごみのたい肥化やエコバッグ、マイ箸、マイ容器を使ったりということ。もう一つ住民の役割としては、自治会への協力ということがあると思います。

自治会では、地域内調整として苦情の受付であったりゴミステーションの管理、違反ごみの後始末など、実際にその地域に合わせた活動は自治会にお願いして、そこに住民が協力していく。

行政に対しては、実際にどう減量していくか、どの程度ごみが出ているのか、粗大ごみをどう回収していくのかという方法をしっかり知らせてほしい、そして分かりやすいルールを作してほしいということが挙げられました。

その他団体として、イベント時にごみを減らす努力をしてほしいとまとめました。

これで6班のまとめを終了します。



方について事務局よりご報告いたします。また、学習会全体についての参加者の皆さんからの質疑応答やまちづくり基本条例についてのアンケートを行う予定です。

予定しておりました、まちづくり基本条例市民学習会も次回が最後の開催となりましたが、今後も皆さんと楽しく議論する方法など、皆さんが市政に参加しやすい環境づくりや仕組みづくりといったことを心がけていきたいと思ひます。

そのほか、ご意見・ご提案がございましたら本日のアンケート用紙にご記入いただきたいと思ひます。それでは、よろしくお願ひいたします。

### **【司会】**

それでは、これで本日の学習会を閉会いたします。

なお、本日皆さんにお配りしたアンケート用紙は、お帰りの際、受付のテーブルにご提出くださるようお願ひいたします。アンケートは、後日ご提出いただいても結構です。また、名札は、各テーブルにそのまま置いてお帰り下さるようお願ひします。

次回の学習会も是非、ご参加くださいますようお願ひいたします。それでは、お忘れ物がないよう御確認いただき、お足もとに気を付けてお帰りください。

長時間にわたり、御協力をいただき、ありがとうございました。